

第17回目の研修内容は

□目隠し誘導ゲーム □ジェスチャーゲーム の2つです。

●「目隠し誘導ゲーム」

まずペアに別れ、目隠しをする人と誘導する人に別れます。目隠しをした人は、サッカーボールをドリブルしながら部屋のあらゆる場所に置かれたゴールを目指します。当然目隠しをしているのでどこにゴールがあるか分かりません。しかも動きを遮る物があちらこちらに置いてあるのでどう進んで良いか分からず不安になります。ドリブルしているボールを見失うことだってあります。そこで、誘導する人が言葉のみを使ってゴールに導きます。誘導する人はゴールがどこにあるか見えているので進むべき導線はすぐにイメージ出来ます。しかし、それを目隠ししている相手に分かりやすく言葉だけで伝えることはとても難しいのです。ペアの信頼関係と相手の立場に立った声かけが必要になります。

●「ジェスチャーゲーム」

皆さんも一度は行ったことがあると思います。ルールはとてもシンプルで、予め用意されたお題を見てジェスチャー(身体の動き)だけで相手に伝え、お題を当てて貰うゲームです。お題の例としては、「ゾンビが相撲でライオンに勝った」「ぎっくり腰の魔女が休憩している」などです。

皆さんだったらどう伝えるでしょうか？

これもお題を見たり聞いたりすればすぐにイメージ出来ます。しかし何も知らない相手にジェスチャーだけで伝えることはとても難しいです。実際行ってみたら伝えることの難しさを実感出来ると思います。

今回の研修の狙いは、

イメージを共有していない相手に限られた方法で伝えることの難しさを体感し、自分自身の常識に当てはめず、いかに相手の立場に立ってイライラせず肯定的に伝えることが出来るかどうかを改めて考えることです。カラーズのスタッフの皆さんも最初は伝わらない状況に戸惑いを見せていましたが、すぐに考えを切り替え、相手の立場に立った伝え方を考え実行していました。普段の生活ではどうしても自分自身の感情や常識を優先しがちになります。今回の研修で相手の立場に立った視点の必要性を改めて感じて頂けたと思います。

